



# 図書館だより

2021年5月号 NO. 378  
北茨城市立図書館  
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16  
TEL 0293-42-1451



## 「いっしょによもう、いっぱいよもう」第63回「こどもの読書週間」

「子どもが図書館へ来て自分のカードで本を借りる」ということは、①たくさんの中から自分が読みたい本を選ぶ②借りた本を大切に読む③期限を守って返却する という行為を繰り返すこととなります。これは、どんなに小さな子どもにとっても、自分の責任で借りるという社会性と、ほかの人も借りる本を扱うという公共性を養うことができるのです。これは、本を買って与えるということでは、得ることのできない経験です。

新型コロナウィルス感染拡大により、昨年より、図書館への子どもたちの来館が減っています。土日は子どもたちでにぎやかだった児童コーナーも、今はずいぶん静かになりました。現在、北茨城市立図書館は、感染拡大予防の観点から、最小限の人数でのご利用をお願いしています。

新型コロナウィルスを心配して外出を控えていることもあるかと思いますが、図書館から足が遠のいてしまったご家族もいるのではないかと大変心配です。また、それによって、子どもたちの読書の機会を失われることを懸念しています。

4月23日～5月12日までは「こどもの読書週間」です。「こどもの読書週間」は、子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから1959年（昭和34年）に誕生しました。今年の「こどもの読書週間」の標語は「いっしょによもう、いっぱいよもう」です。新型コロナ感染予防を行いながら、どうしたら「いっしょに読める」のか、どうすれば、「いっぱい読める」のか…子どもの読書を守っていかねばならないと考えています。

by ビクトリア

## 《 図書館カレンダー 》

■ 印は、休館日です。

★ 開館時間 : 午前9時30分～午後6時 ★

★ 2021年5月 ★

★ 6月 ★



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



## ★ YABOOKご紹介 ★

### 『チェリーシュリンプ — わたしは、わたし — 』

児童書929フ ファン・ヨンミ / 作 吉原 育子 / 訳 金の星社

『最高のチームワークを誇ったわたしたち5人組のトークルームのどこにも、わたしの居場所はなかった。ひょっとしたら、そんなもの最初からなかったのかもしれないなかった。』

この本は、韓国の中学生の友人関係や進路など日常を描いた物語です。文化の違いはあっても、友人関係で悩んだり、揺れ動くティーンの心は共通していて、誰もが通る道なのかも知れません。

学校という閉鎖的な空間で、毎日注意深く、仲間外れにならないように……。悩み戦う14歳の少女が、様々な人たちとの交流を通して、やがて — わたしは、わたし — と自分らしく生きる決心をします。

幸せな人生を送るには何が必要か。喜びをもたらすものは何なのか。自分自身で、悩み考え見つけ出すことの大切さを教えてください。

今、悩みを抱えている中高生に、この本の中にちりばめられたエールや希望の言葉が届きますように。

b y キキ

## ★ 図書館員のひと一言 ★

### 〈〈 幼なじみとの対話 〉〉



私には、ひとりの幼なじみがいて、もう10年も会っていないのだが、ときおりふと思い出す記憶がある。それは、彼女と「部屋」について話した、遠い遠い昔のこと。

この「部屋」というのは、住居としてのそれではなく、もっと精神的な、心の粹組みみたいなもので（そういう有名な部屋ありますよね）、なんちゅーか、概念、な感じ。

彼女の部屋は、南向きに張り出した出窓があって、眼下に大海原の広がる、明るくて開放的な部屋。対して私は、天井近くに小さな格子窓があって、そこから月明かりが差し込むような、静かですこしさびしい部屋。なんて対照的。なんて正反対。

でもね、と私たちは続けた。「ふたりとも、部屋があるのは一緒だよ。」

いいとか悪いとか、正しいとかまちがっているとか、まったく関係のない次元で、妙に納得しました。重力のように、すとん、と腑に落ちました。

なぜ急にこんな話を持ち出したのかということ、昨日たまたま、幼なじみと同じ名前の主人公の小説を読んだからなのですが、覚えているんだな、ちゃんと。

10年経って、私の部屋は、すこしだけ様相が変わりました。ときどき流れ星が見えたりする。いわんや、彼女の部屋。窓から惑星なんかが見えたりして。

いつかまた会える日が来たら、お部屋でまったり、なんていかないだろうな。お菓子を食べるヒマもないくらい、語りが多すぎて、それはそれは幸福だろうな。

b y ミカゲ



## ◇ THE やんごとなき雑談 ◇

一般書 778 ナ 中村 倫也 / 著 KADOKAWA

役者、中村倫也の『どんなに下らないと思える話でも、それはきっと気高く、価値のあるものである』（※本書より抜粋）という願いが込められたエッセイ集。“動物好きのゆるふわ系”の中身は、“自意識まみれのぐちゃぐちゃ男”？【凹み気味】【コロナ疲れ】【癒し不足】にも効くこと間違いなし。ニヤニヤ注意です。（マスクをしていれば安心ですね）

by [Mo7]

## ◇ 「明るい未来」を子どもたちに 原子力に未来を夢見た町に生きて ◇

児童書 369 ト 豊田 直巳 / 写真・文 農村漁村文化協会

東日本大震災により、福島第一原発事故が発生してから10年、各地の被災地では復興が進んでいるが、今だ、双葉町では帰還のめどさえたっていない。この写真集を開くと双葉町の方々の叫びが聞こえてくるようだ。

冒頭、「原子力明るい未来のエネルギー」の看板の前に、「撤去が復興？」「過去は消せず」のボードを掲げた二人の姿が飛び込んでくる。写真集を読み進めると、その真意はとても重く言葉にできない。

ただただ、原発にほんろうされた双葉町の方々が、一日も早く元の日常に戻れることを願うばかりです。

by みなみ

## ◇ うさぎタウンのおむすびやさん ◇

児童書 913 コC 小手鞠 るい / 作 松倉 香子 / 絵 講談社

ここは、「にこにこうさぎタウン」にある「ラビットひろば」です。アイスクリームやさん、レストラン、ようふうやさん、花やさん…、いろいろなお店がならんでいます。

まい日、朝いちばんにはじまるお店があります。お店からは、楽しそうな歌声が聞こえてきます。「おむすび おむすび、たのしいな♪ みんなで食べれば、おなかもいっぱい♪」

「ななこのおむすびやさん」です。ななこさんのおむすびは、とってもおいしくて、みんな大好きです。今日のおむすびは、なにかな？ さっそく、お店をのぞいてみましょう。

by みーやん

## ◇ みえない こいぬ ぽっち ◇

児童書 Eミエ ワンダ・ガアグ / 作 こみや ゆう / 訳 好学社

のうかのかたすみに、こいぬの兄弟がすんでいました。耳がとんがっているポンティ。耳がくるくるしているカーリー。なぜか、三番目のこいぬはみえない。これっぽちもみえないので、ぽっちという名前でした。3匹は幸せにくらしていました。ところがある日、男の子と女の子がポンティとカーリーを連れていってしまいます。男の子と女の子には、ぽっちの姿が見えないので連れて行ってもらえません。そこでこっそりついていきますが、道のりは長く疲れて寝てしまいました。この後、ぽっちはどうになってしまうのか。

by チッピー



◇ なまはげ ◇

児童書Eナマ 池田 まき子 / 作 汐文社



みなさんは、秋田県男鹿半島に伝わる「なまはげ」って知っていますか？

見かけはとっても恐い鬼です。でも、村人と仲良しになるために、田畑を耕したり、約束した石段を一晩で999段積み上げてあげたりしました。

村人は、「あんなに暴れん坊の鬼だったけど、本当は幸福を運んでくれるやさしい守り神なのだ」と理解して、今でも大切にしているそうです。 by ササ

◇ ねずみくんの ピッピッ ピクニック ◇

児童書Eネズ なかえ よしを / 作 上野 紀子 / 絵 ポプラ社

きょうは、みんなで ピクニック。ねずみくんと ねずちゃんと みんなは、お弁当を食べるところを さがしています。「海で水あそびしてから たべましょう」ねずちゃんが、いいました。「およげないよ」と、ぶたくんが いいました。「じゃあ、山にしましょう」すると、かめくんが「さかをのぼるの にがてなんだ」といいました。

みんな、おなかですいてきました。そこで、ちょうちょうさんに、「お花のさいているところ」につれていってもらうことにしました。すると、そこは……。 by みーやん

『おはなし会』のお知らせ

★ 図書館おはなし会 ★

5月12日(水)、19日(水)

午前10時～10時30分

★ エプロンひろ子さんのエプロンシアター ★

5月8日(土) 午前10時～10時30分

★ メリアンさんの英語のおはなし会 ★

5月22日(土) 午前10時～10時30分

★ ぽっぽのおはなし会 ★

5月26日(水) 午前10時～11時



すべて参加自由・  
無料です。  
場所は、1階絵本  
コーナーです。

どこかで

新川 和江

コップの ばらが ひらきました

ちようど今

世界のどこかで

子どもが ふふふ と笑ったからです

きれいな 虹が かかりました

和んでいる空

世界のどこかで

子どもが うたを うたったからです

小鳥が ぱっと とび立ちました

ゆれている枝

世界のどこかで

子どもが いきなり かけ出したからです

